

松浜軒／松井文庫の至宝 遊び心満載の文房具

# 網田焼 白磁梅に唐子水滴

江戸時代（十九世紀前半） 松井文庫所蔵

巷で流行の「文房具」。アイデア満載、便利でお洒落なグッズが次々登場してきます。そんな文房具へのこだわりは、今に始まったことではありません。江戸時代や近代の文房具は、実用的でありながら工芸的な仕上がりが、遊び心のあるデザインで、多くの日本人を魅了してきました。

今回紹介する松井文庫の至宝は、書道具の中から「水滴」です。墨の濃さを調整するとき硯に水を注ぐ小さな容器です。一般的には箱型で注ぎ口が一つというシンプルなデザインですが、本作は三人の唐子が戯れながら梅の花に手を伸ばす様子を表現したものの。像高わずか九センチ、置物のように見えますが、背後から見ると右手に持つ梅の枝先が注ぎ口になっていて、実用品であることがわかります。

本作は、宇土半島で焼かれた網田焼です。網田焼は、熊本城下の細工町別当忠助が肥前皿山や天草の陶工を雇い、寛政五年（一七九三）に開いた磁器窯です。原料の陶石は二見白島や天草のものを使用、同十



▲網田焼 梅に唐子水滴  
江戸時代（18世紀前半）  
松井文庫所蔵

## ■松井文庫展示案内 [企画展示]

武家のくらし  
～飲食の器・香道具と文房具

会期 開催中～7月19日(日)まで  
開園 午前9時～午後5時  
(入園は午後4時30分まで)  
閉園日 毎週月曜日  
(祝日の場合はその翌日)  
観覧料 一般500円 小中学生250円

問合せ 松浜軒／松井文庫  
☎ 33-0171

(市立博物館 学芸員 石原 浩)

江戸時代の経済学者佐藤信淵は、『経済要録』のなかで「磁器は肥後の網田山を第一とし、薩摩や肥前松浦の諸藩はこれに次ぐ」といい、網田焼を磁器の最高峰に位置付けてました。

松井文庫に伝わる本作は、藩窯時代に焼かれたもので、梅花の蕊まで表現した超絶技巧が見事。これほど薄く繊細な細工物は、有田の陶石では作ることができません。粘りの強い天草の陶石と優秀な陶工との出会いが生んだ奇跡の逸品なのです。

年（一七九八）に肥後細川藩の藩窯となります。しかし、有田や波佐見など肥前磁器の徹底した製品管理による量産とコストダウンに対抗できず、藩窯の時代は三十年ほどで終了しました。

# 八代特産晚白柚、八代生姜が地理的表示(GI) 保護制度に新規登録

## 地理的表示(GI) 保護制度

地域には、伝統的な生産方法や気候・風土・土壌などの生産地の特性が品質の特性に結びついている産品が多く存在しています。

これらの産品の名称（地理的表示）を知的財産として登録し、保護する制度が地理的表示保護制度です。

### 登録されると

#### 品質の保証

GI 制度では一定の品質基準を満たしたものが登録されるため、他産品との差別化を図ることができます。

#### 認知度の向上

報道される機会の増加や農林水産省のホームページへの掲載で、認知度が向上し、販路の拡大につながります。

#### 模倣品の排除

国内や海外で名称を模倣された場合、国が取り締まりを行うので、ブランド価値が守られます。

## 八代特産晚白柚

登録団体 八代ブランド推進協議会



## 八代生姜

登録団体 八代地域農業協同組合



問合せ 農業振興課 ☎ 33-8751

## 今月の紙

4月6日、鏡町の北新地海岸一帯でアサリの潮干狩りが解禁されました。参加者は4カ所に分かれ、広大な干潟で潮干狩りを楽しみました。表紙の写真は熊手や手を使って一生懸命アサリを掘り起こしていたきょうだい。たくさんアサリが捕れてとても喜んでいました。